

## 令和5年度 宿泊学習 日程表

札幌市立 S 中学校 様

2023年5月6日作成

旭川 方面	期日:2023年5月29日(月)~5月30日(火)											1泊2日(宿舎1泊・車中0泊)		
	生徒様(クラス数4組+特別支援学級)					教職員様					写真屋	その他	添乗員	生徒・先生計
	男子	名	女子	名	合計	158名	男性	名	女性	名	合計	11名	1	(2)

日次	月/日 (曜)	行 程	食 事			宿 泊
			朝	昼	夕	
1	5/29 (月)	学校 8:15 途中休憩 ●まち歩き BINGO 等含む 東川町内体験プログラム 10:30 ●10:30~ バス下車、移動 ●10:40~ 体験内容説明 ●11:10頃~プログラム実施 ●13:30~表彰、フィードバック等 14:40 旭川 ICT パーク 15:15 ●15:15~ バス下車、移動 ●15:25~15:35 スタッフよりパーク、e スポーツの説明 ●15:35~16:15 e スポーツ体験 ●16:20~ 移動 16:20 宿 舎 17:00	×	各自	ホテル	【深川】
3	5/30 (火)	宿 舎 9:00 ●農村改善センター集合 東川町アクティビティ体験 9:50 ○ツアティング、トレッキング、カヤック体験(上原 35名) ●9:50~ バス下車、移動 ●10:00~12:10 体験活動 ●12:20~ 移動 ●12:30~12:50 昼食 13:30 途中休憩 16:00 学 校	ホテル	弁当	×	✕

この計画書は、2023年5月6日現在のスケジュールです。運輸機関等のダイヤ改正、各地の道路状況により、多少行程・時間が変更になる場合があります。  
 記入例：JR 私鉄 飛行機 バス 船舶 徒歩

**※備考※**  
 お客様の安全確保のためにバス走行中は常にシートベルトを着用願います。  
 添乗員同行の場合、労働基準法の定めから勤務中一定の休憩時間を適宜取得させる  
 ことが必要ですので、お客様各位のご理解とご高配をお願い申し上げます。

**【宿泊施設】**  
 1泊2食 ネイバル深川※御校手配

取扱管理者印

2日間の行程ともオール東川にて提供(宿泊除く)

## プログラムの目的

# 東川町のマチ全体が先生です。

## 体験して、学ぶ研修旅行プログラム

- 自然環境や地方創生、社会課題に対する理解を深めながら、能動的な体験プログラムにより、課題発見力、思考力、行動力を育成。
- フィールドワークやグループワーク、チームビルディングにより社会(マチのみなさん)との関わりや交流による人間力、生きる力を向上。
- 事前学習(研修)や事後学習により自ら考え表現する力を身につける。



世界のさまざまな課題を「自分ごと」におきかえ考える

# 受入れ事例②

## 1. ひがしかわマチ歩きBINGO (プログラム概要)

-01-

### SDGsを考える ひがしかわマチ歩きBINGO



東川町のマチ歩きを通して点在するミッションを地元の人に聞いたり自ら探し出したりしながらクリアしBINGOを完成させ、東川町の魅力や取り組みを発見し、自分と社会との関わりや社会課題などを自分毎として考える「マチ歩き型散策プログラム」。

#### プログラムの流れ

①1組4人程度(※)のグループに分かれ東川町内MAPとミッションカード(ビンゴカード)に沿ってマチ歩きをおこなう。  
※事前に班をつけておいてもらう

②与えられたミッションをクリアする毎にビンゴカードを埋めていく。また、同時に撮りたい写真や東川的な写真を撮影。



④【事後学習】クリアしたミッションや東川のマチ歩きを通して、自分と社会の関わりについて考えてみる。

③ビンゴになったらミッションクリア。指定の場所で特典交換(道の駅アイスクリーム)縦・横・斜めのいずれか1ラインで1特典。最大3ラインで3特典。



**マチ歩きミッションカード**

Mission1 東川町は1985年に写真の町営を、写真写りのよいマチづくりの活動をしてきました。これらの活動と関係120年を機に「写真文化首都宣言」をおこなったのはいつでしょう。

Mission2 (タヌキ) 東川町は1985年に写真の町営を、写真写りのよいマチづくりの活動をしてきました。これらの活動と関係120年を機に「写真文化首都宣言」をおこなったのはいつでしょう。

Mission15 (フォトセッション) フォトストーリーのフォトフレームを探し、班の顔出し写真を埋めよう。

Free Photo 東川町らしい風景や旅行の思い出など自由に写真を撮りましょう。

**ひがしかわマチ歩き  
BINGO**

18 (写真)	7 (写真)	22 (写真)	3 (写真)	11 (写真)
1 (写真)	24 (写真)	6 (写真)	21 (写真)	13 (写真)
23 (写真)	12 (写真)	Face photo (写真)	16 (写真)	20 (写真)
15 (写真)	9 (写真)	5 (写真)	2 (写真)	8 (写真)
4 (写真)	17 (写真)	10 (写真)	19 (写真)	14 (写真)

Missionの枠内を必読! ありに「O」印などチェックを入れる。

Face photoは自由に自由撮影するミッション



Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社 アグリテック

# 受入れ事例②

**ラフティング体験 (忠別川)**

**カヤック体験 (忠別湖・ダム)**

**トレッキング体験 (旭岳エリア)**

**カヤック体験** 忠別湖(忠別ダム) 観水広場で船着き場をバックにカヤックやカヌー体験(2時間、20名、ひとり5000円)。忠別ダムとの見学と入れ替えて最大40名。



Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社 アグリテック



## SDGsアクティブラーニングの様子

### 【流れ】

- ・イントロダクション（現状認識）
- ・インプット（アクティビティ、体験、交流など）
- ・グループワーク（課題の整理、まとめ、ポスターセッション等）
- ・振り返り（アウトプット）



Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社 アグリテック

# 団体間連携(地域連携)による持続可能な受入れ体制を整える

「農林漁業・商工業全国5団体による調査研究報告書2021年度」より引用

## □ J A および組合員が提供できる可能性のある体験型コンテンツ

- 農業体験（田植え、稲刈り、収穫体験、酒造り体験、耕作放棄地の再生体験等）
- 食農教育（収穫体験、生き物調査等）
- J A 施設の体験（選果場のバックヤード体験、直売所での農畜産物販売体験等）
- 援農（収穫作業等）
- 農家民泊（農家宅に宿泊）
- J A ファーマーズマーケット（直売所）の見学
- 農家レストラン（農畜産物の提供等）
- 農業塾（農業・農作業に関する講義・実習）
- 料理教室
- オンラインによる農業体験、料理教室（コロナ禍により増加）

## □ 森林組合および組合員が提供できる可能性のある体験型コンテンツ

- 林業現場見学（植栽→下刈り→除伐→間伐→主伐、森林作業道開設、搬出・運搬、高性能林業機械）
- 植樹体験、枝打ち・伐倒体験
- 木材共販所・加工場見学、木工体験、チェーンソーアート
- きのご体験（植菌・収穫）
- 森林環境教育・木育、林業体験教室
- 林内散策、森林浴、自然観察、トレイルラン、ツリークライミング
- 日本伐木チャンピオンシップ（JLC）見学

Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社 アグリテック

# 団体間連携(地域連携)による持続可能な受入れ体制を整える

「農林漁業・商工業全国5団体による調査研究報告書2021年度」より引用

## □ J F および組合員が提供できる可能性のある体験型コンテンツ

- 漁業体験（定置網漁体験、刺し網漁体験、延縄漁体験、イワシ網漁体験、イカ釣漁体験、タコ籠漁体験、サザエ網漁体験、ホタテ養殖体験、ウニ獲り体験、ワカメ刈り体験、養殖生簀への餌やり体験、海女の仕事体験 他）
- 漁業見学（観光船等による定置網漁見学、漁船乗船体験 他）
- 市場・加工場見学（水揚げ見学、競り見学、加工施設見学 他）
- 低次・高次加工等の体験（魚捌き体験、ウニ剥き体験、イカ加工体験 他）
- クラフト体験（貝殻を使った小物づくり体験、貝紫染めの体験 他）
- マリンスポーツ関係（ダイビング、シュノーケリング、スタンド・アップ・パドルボード（SUP）、シーカヤック、洞窟探検ツアー 他）
- クルーズ関係（ホエールウォッチングクルーズ、バードウォッチングクルーズ、さっぱ船クルーズ 他）
- 飲食関係（漁業体験で獲れた魚介類を使った海鮮バーベキュー、漁師・海女飯体験、養殖筏上での飲食、カキ小屋 他）
- 漁業学習関係（漁業者・J F 職員等のガイドによる漁村の路地裏散策・湾岸線沿いのサイクリング、1日漁村留学体験、磯観察 他）

Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社 アグリテック

# 団体間連携(地域連携)による持続可能な受入れ体制を整える

「農林漁業・商工業全国5団体による調査研究報告書2021年度」より引用

## □ 商工会・商工会議所および会員事業者が提供できる可能性のある体験型コンテンツ

- 工場見学（産業観光）
- モニターツアー
- ものづくり体験（加工食品、工芸品など）  
※オンライン実施含む
- シティーマラソン
- トレイルラン
- ガイドツアー（地域巡りや観光地案内含む）
- イベント・祭り・マルシェ等の開催
- オンラインイベントの開催  
（各種セミナーやオンラインでの体験教室、マルシェ等）
- 謎解きイベント
- オリエンテーリング
- 夜景観光（工場夜景など）
- ウォークラリー
- 職業体験（企業見学）
- 座禅体験
- 酒造見学・試飲体験
- 屋外サウナ（イベント）
- 滝行・禊ぎ（精神統一修行体験）
- お茶席体験
- 文化財観光施設（城や山荘など）を活用した歴史体験
- スタンプラリー等の地域内での販売促進イベント
- 乗馬体験
- シーカヤックやカヌー等への搭乗体験
- レンタサイクルツアーの提供
- 移住体験（民泊含む）
- アンテナショップのバックヤード見学
- 体験型観光の提供
- 収穫体験（農業関係、漁業関係）
- 民泊
- 食育体験
- 職業体験（子供向け）
- 起業（ビジネス）体験
- モノづくり体験  
（工業関係、建設関係、飲食関係）
- 各種アクティビティ
- 森林セラピー
- キャンプ（アウトドア）
- トレッキング
- マリンスポーツ
- 干物づくり
- 漁船周遊
- 魚裁き
- カヤック
- 川遊び
- 魚釣り、つかみ取り
- 生き物観察
- 茶道、礼儀作法
- 昔の暮らし体験
- 牧場体験
- 乗車体験（鉄道）
- 絵付け体験
- クラフト工作
- 染め体験
- IoT機器体験  
（YR、ドローン、3Dプリンター等）

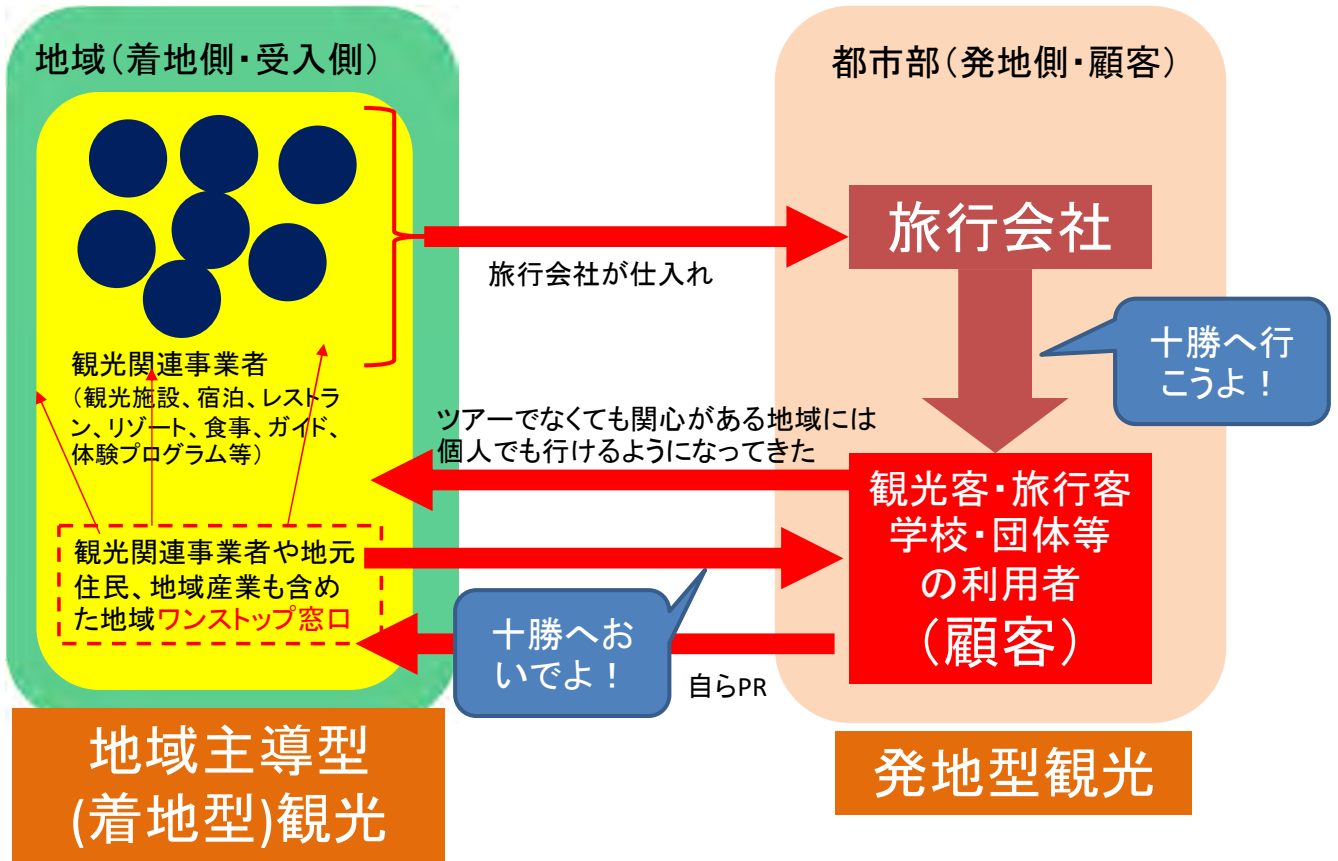


Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社 アグリテック

# 推進体制の必要性(発地型→着地型へ)

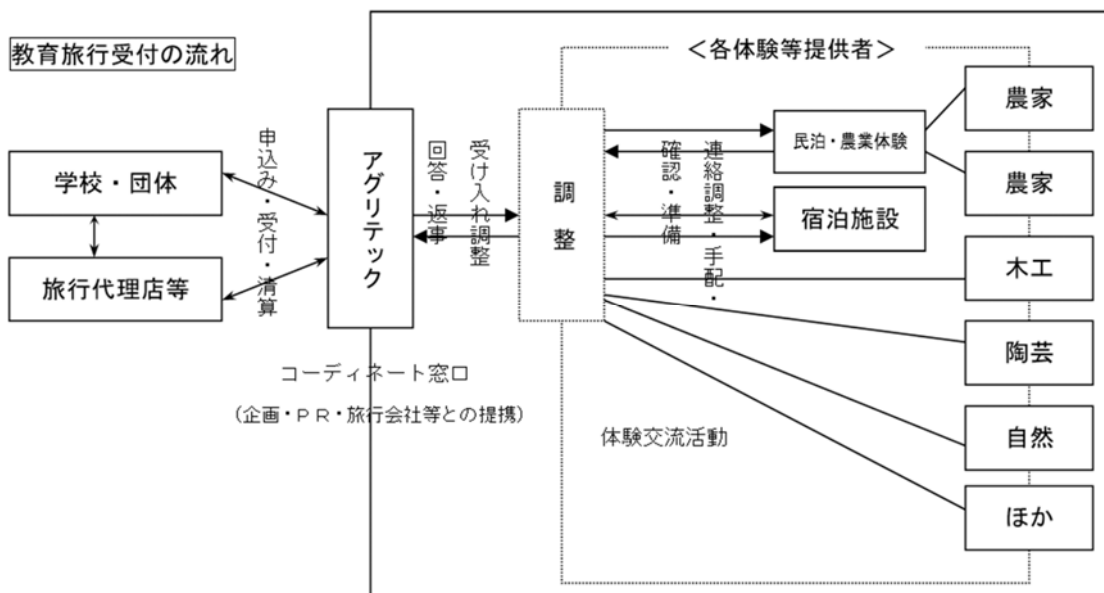
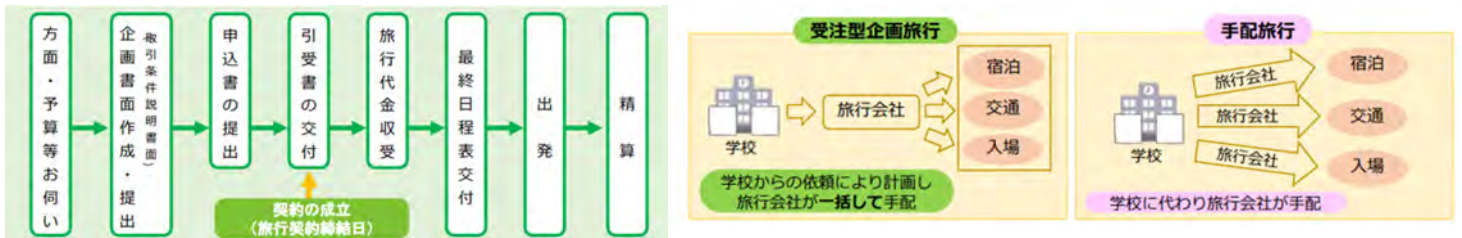
都市部主導で旅行の手配をおこなう「行こうよ(発地)」から地域自ら主導で旅行や観光の手配をおこなう「おいでよ(着地)」という旅行形態。



Copyright ©Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

株式会社 **アグリテック**

# 教育旅行の仕組み(アグリテックのコーディネート機能)



Copyright ©Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

株式会社 **アグリテック**

教育現場の思い

生産現場・地域の思い



これらの要素がうまくつながったときに実現する



コーディネーター(アグリテック)の役目

前後の旅行行程

空港へのアクセスや、交通・移動手段

生徒の思い  
(親の思い)



持続可能な農山漁村づくり(受入体制)に向けた課題

- ①「人材」の不足
- ②「仕組み」の不足
- ③「産業・仕事」の不足



体制づくり



魅力あるコンテンツづくり



魅力発信



関係人口・交流人口の増加

[農山漁村の有する多様な地域資源]

農山漁村の地域資源

<p>体験</p>	<p>食</p>
<p>人</p>	<p>景観</p>
<p>宿泊</p>	

コーディネーター

図: 農水省より引用したものを加工

## 学校現場における教育旅行における農村体験の魅力について①

### 聖隷クリストファー高校（静岡県浜松市）

修学旅行担当：清水先生

2017年より宗谷・道北エリアにて、ファームステイ体験を実施。修学旅行にファームステイ体験を取り入れる理由についてビデオメッセージから。



これまでの修学旅行はパック旅行（買い物旅行）のようだった。

行ったことがないところ、これまで経験したことのないこと。その土地でしかできないこと。

冬の北海道のリアルな体験をするというのがそれこそが目的。

高校生のいまでないとできない体験を。

日本の最北端から南に下ってくる北海道縦断の旅行はなかなかできない貴重な経験。

これを実現できたことは感動しかない。

Copyright © 2021 Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

35  
有限会社 アグリテック

## 学校現場における教育旅行における農村体験の魅力について②



### 雲雀丘学園高校（兵庫県宝塚市）

松石昇教頭先生（当時）

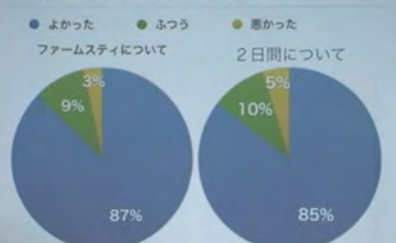
2005年より毎年継続してファームステイ体験を修学旅行に取り入れている。

2016年に弊社主催でおこなった「農村体験フォーラム」での「修学旅行にファームステイを取り入れる理由」について講演いただいた中から。

#### 修学旅行行先の条件（2004年）

- ・国内・国外の制約はない
- ・予算は12万円以内
- ・4泊5日
- ・時期に制約はないが6月が妥当
- ・目的が明確
- ・目的を達成できる内容

#### 生徒アンケート2015



#### なぜ10年も続けているか

- (1) 経験したことがない体験
- (2) その土地でしかできない体験
- (3) 生徒どうしが親密になる
- (4) 現地での交流（異文化交流？）
- (5) 本物の“学び”である

Copyright © 2021 Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

36  
有限会社 アグリテック



# 首都圏教職員等の北海道での教育旅行現地研修受け入れ



## 修学旅行研究会・北海道修学旅行現地研修会受入れ

期日: 2023年9月9日(土)~10日(日)

視察先: アグリテック、旭山動物園、旭川博物館、川村カチト記念館、富良野エリア等

主催: 北海道観光振興機構

参加者: 北海道へ修学旅行を検討している首都圏(主に神奈川県等)の学校職員や教育旅行関連組織、教育旅行関連メディア



3. 今回の研修で印象に残った施設はどこですか?

日本語学校のある施設については、横浜の生徒、あまの、学校交流として1年生生に生命のから、授かりの心と取り組みを見直し、学習計画のためと、1年後、2年後の施設を訪問しよう。その中で、印象に残った。

3. 今回の研修で印象に残った施設はどこですか?

実際に見ることで、北海道の良さを感じることができました。訪ねてくれた自然、人、食、酪農、農業、特に 日活学校 (国際教育) の交流等、可能性を感じました。

3. 今回の研修で印象に残った施設はどこですか?

東川町のフォームステイ 修学旅行で民泊等と並ぶための中学校もあり、北海道へ受け入れられる地域が広がれば、大規模研修の範囲で高泊も可能、受け入れられる。

3. 今回の研修で印象に残った施設はどこですか?

東川町の行政 町民一体となって町づくり、少子高齢化の進む日本にとって 大きな貢献と感ずる。日本をの将来を背負う中高生に是非 体験し、探究してもらいたい。

4. 今後、北海道での修学旅行を検討する可能性はありますか?

着実に北海道修学旅行は増加していくと思う。継続的に積極的に魅力を発信してもらいたい。

Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

株式会社 アグリテック

## 参考(メディア露出)

月刊「教育旅行」2022年11月号に寄稿(財団法人日本修学旅行協会発行)

**旭山漁村での教育旅行向け体験プログラム**

**持続可能な社会の実現に向けた共有**

そのほか、東川町の「マチ歩きBINGO」ミッションをクリアする「マチ歩きBINGO」...

「マチ歩きBINGO」...

「四合一」...

**旭山漁村での教育旅行向け体験プログラム**

**地域内連携による新たな農村体験プログラムの可能性**

有限会社アグリテック 代表取締役社長 中田 浩康

**コロナ禍による体験内容の見直し**

北海道のほぼ中央部、北海道道最南端に位置する東川町は、大雪山に隣る雪解け水が豊富で、全国でも珍しい上水道の飲料水も人口約5000人の町だ。

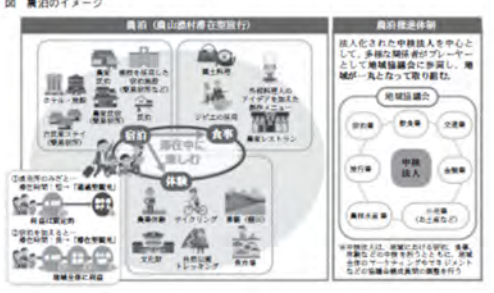
**新たなプログラムではない**

「食育」として、人と人とのつながりや、地域内連携による新たな農村体験プログラムの可能性を追求する。



「子ども農山漁村プロジェクト」について教えてください

農林水産省 都市農村交流課 農泊推進係長 西山 幸宏 にしやま ゆきひろ



「子ども農山漁村交流プロジェクト」は、子どもたちの学びや心、規範意識などいやり、力強い成長を支える教育活動として、子どもを農山漁村に宿泊し、地域の住民と交流しつつ農林業体験や自然体験活動などを行う取り組みを推進するものです。

農泊を運営する中核法人(民間企業)、観光コンテナー(構成員)に農山漁村のいづれかに関する必ず含む(一休)の提供により、農泊をシナジーとして実現できる体制の構築が必要で

北海道で、本プロジェクトを設立して1年が経過し、21年度時点で、14地域は21年度時点で、農泊に積極的に取り組んでいる地域事例を2つ紹介します。

北海道で、本プロジェクトを設立して1年が経過し、21年度時点で、14地域は21年度時点で、農泊に積極的に取り組んでいる地域事例を2つ紹介します。

農山漁村への関心高め 将来的な関係人口創出 本プロジェクトは、子どもを農山漁村に受け入れ、農泊体験を通じて、農山漁村の魅力を伝えることにより、地域が得られる利益を最大化

「農業体験受け入れQ&A集」監修 (北海道協同組合通信社・ニューカントリー編集部)

監修のことば (敬称略)

南アグリテック代表取締役社長 中田 浩康 (1部「受け入れ編」監修・執筆) 「農業体験受け入れは生産活動の一部」と話す農家がいます。

南アグリテック(東洋町) 井田 美美子 (2部「伝え方編」監修・執筆) 「子どもが農業に興味を持ってくれるのは、とても嬉しいことです。」

「子ども農山漁村交流プロジェクト」は、子どもたちの学びや心、規範意識などいやり、力強い成長を支える教育活動として、子どもを農山漁村に宿泊し、地域の住民と交流しつつ農林業体験や自然体験活動などを行う取り組みを推進するものです。

～農と食と人と地域をつなげる農村体験交流の推進～

## 体験観光を通して農業・農村の魅力を発信するお手伝いをします。



アグリテックは地域資源を活用しグリーンツーリズムの持つ可能性を事業化した体験観光を通じた交流人口増加による地域活性化のお手伝いをする企画会社です。都市と農村の交流活動を通して住んで良かった、訪れて良かったまちづくりをサポートします！



### 農家のみなさま

農業体験の受け入れを初めてみませんか？修学旅行での農業体験・農家民泊の受け入れや、農家ならではの体験プログラムの企画、観光農園等の企画運営等、体験活動を通じた食や農の大切さ農業・農村の魅力を発信するお手伝いをします。

### 自治体・関係団体のみなさま

地域資源を活用した体験観光プログラムの企画をはじめ、農業体験等の受け入れ体制整備や協議会等の設立支援、また農家向けの受け入れ講習会や勉強会、地域プロモーション活動など「観光まちづくり」のお手伝いをします。

Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社 **アグリテック**

体験プログラム・地域観光のお問合せは

有限会社 **アグリテック**

〒071-1425 北海道上川郡東川町西町2丁目2-17

TEL/0166-82-0800 FAX/0166-82-3040

E-Mail: info@agtec.co.jp

URL: <http://www.agtec.co.jp>

Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社 **アグリテック**